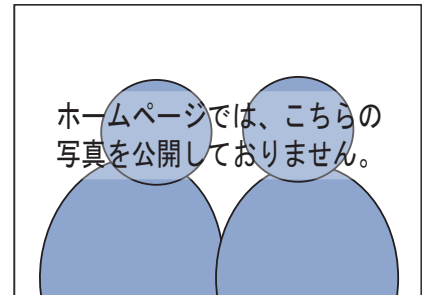


CLUB NAVI 2

中学

ワンダーフォーゲル部

今回は、中学ワンダーフォーゲル部を代表して、部長の●●●●さん(3年李)、副部長の▲▲▲▲さん(3年楓)にインタビューしました。



左より部長の●●さん、副部長の▲▲さん

女子中学校ではとても珍しい、ワンダーフォーゲル部。部員は7名。普段は、週3回校舎の階段を1～5階(通称 音楽山※5階に音楽室があるため)まで10往復して、足腰を鍛えています。時には、外でベビーカステラを焼いたり流しそうめんをするなど、楽しいイベントで盛り上げているそうです。月に1回は近隣

の山を登り、夏には御岳や立山など2泊3日で登るというのが、主な活動内容です。

Q 山登りの醍醐味は?

A ●●さん(以下 ●●)「頂上からの眺めですね。夏休みに立山を登った時には、たくさんの流れ星を見ました。すごく綺麗で感動しました。」

▲▲さん(以下 ▲▲)「頂上か

ら見る景色は私も大好き。でも実は私、高い所苦手で……。なだらかな山をゆっくり登るのがすごく楽しいです。」

Q 山登りをしている最中は、みんなはどんな様子ですか?

A ▲▲「好きなことを考えながら黙々と歩いています(笑)。場所によっては離れて歩かないといけないので、お喋りしながら歩くことは少ないですね。私は、階段なら大丈夫ですが岩登りは苦手なので、崖などを登る時は文句を言いながら登っています(笑)。」

●●「私は反対に、岩登りや崖登りが大好きなので、テンションが上がってワクワクしながら登っています!でも、私は階段が多い所の方が苦手です。みんな好みが違うので、得意・不



平成20年8月立山にて撮影

得意は結構分かりますが、それぞれマイペースに歩いていますよ。」

Q 危険なこと・注意すべきところは?

A ●●「滑ったりこけないように気を付けています。また、一步道を間違えると、道なき道を歩くことになるので、大変です。」

▲▲「後輩がふざけていたりすると、見ていて心配になります。登山の時は、手をつないだり、下る時にくっついていたりするだけでも、とても危険。あまりにひどい時はちゃんと怒るようにしています。」

マイペースに楽しく登山を楽しんでいるようでも、ちゃんと先輩は後輩たちを守ってくれているんですね。これからも安全で楽しい登山をしてください!

NEWS

受章

田辺聖子さん 文化勲章受章 おめでとうございます!

本学の卒業生であり作家として活躍する田辺聖子さんが、平成20年度の文化勲章を受章されました。田辺聖子さんは、昭和22年に大阪樟蔭女子大学の前身である樟蔭女子専門学校の国文科を卒業し、昭和33年に作家としてデビュー。芥川賞を始めとした数々の賞を受賞されてきたほか、数多くの作品がテレビや映画、舞台などで上演されるなど、多くの

人に愛される作品を生み出してこれました。これまでに幅広く多彩な作品を執筆してこられたことや、独自の作風をもって日本の国文学界の発展向上に貢献してこられた功績が評価され、文化の発展に寄与した人に贈られる最高の荣誉である文化勲章が贈られました。田辺聖子さん、おめでとうございます。

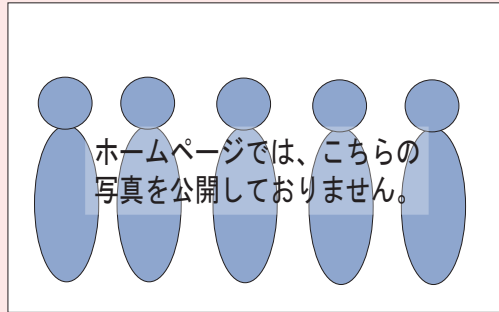


受章の喜びを語る田辺聖子さん

大阪樟蔭が、私の夢の原点です。

大阪樟蔭女子大学の前身、樟蔭女子専門学校に私が入学したのは、戦争が激しくなる昭和19年でした。世間は殺伐としていたのに、学園の中には夢と希望がありました。緑濃い木々、典雅な校舎、読みたい本がぎっしり詰まった図書館、温和な先生がた……。外は硝煙の臭いと軍靴のひびき、軍国主義の風が吹き荒れていたのに、学園には学問芸術への畏敬と愛情がはぐくまれていたのです。その上に自由の精神と、女性であることの誇り。すばらしい伝統です。在学中の心はずみとときめきは、まだ褪せず、私の胸に残っています。現代の私の原点は、樟蔭の学舎にあると思っています。

田辺聖子



皇居での親授式後の記念写真

文学賞

田辺聖子文学館ジュニア文学賞に多数のご応募をいただきました!

中学生・高校生を対象に、表現力豊かな若い世代を育成することを目的として、今年から新たに創設された「田辺聖子文学館ジュニア文学賞」。全国から多数のご応募をいただき、応募総数は8,104件にも及びました。現在、田辺聖子さんを中心とした著名な審査員陣により、小説／エッセイ／読書体験記／短歌／俳句／川柳の各部門において審査が行われ、2月下旬には受賞者が発表される予定です。3月には表彰式と関連イベントの開催も予定しておりますので、ぜひご注目ください。



「田辺聖子文学館ジュニア文学賞」

主催 大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館
共催 (財)文字・活字文化推進機構
(財)出版文化産業振興財団
後援 文部科学省

はぐくむ心



樟蔭高等学校 教頭
高木秀真
たかぎ ほづま

【プロフィール】
1953年8月30日生まれ。
島根県出身。
1977年、樟蔭高等学校の英語科教師になる。中学から大学までソフトテニス続け、インターハイには3回出場。大学では寮生活を経験し、人間関係の大切さを学んだ。2女1男の3児の父親。

壁を感じてからの頑張りと努力が強く豊かに成長させる力に

エネルギーが余っているといわんばかりに、教室やグラウンドで元気いっぱい飛び回っていた生徒たちも、高校の3年ともなると、周囲の空気を自然になごませる、包み込むような雰囲気を持つようになってきます。この明るくて、やわらかな存在感こそ、樟蔭学園育ちの女性ならではのものと、私は思っています。

高校では学力の向上に力を入れているのはもちろんですが、樟蔭の伝統である人間性豊かな女性の育成も大きな目的としています。他校に比較してクラブ活動が盛んなのも、そのあらわれの一端ではないでしょうか。

教頭になるまで、ずっとソフトテニスクラブの顧問をしていましたが、私自身、中学からソフトテニスをやっていました。高校のときにはインターハイに3回出場したものの、いずれも敗退してしまい、それがなんとも悔しく、大学でもテニスを続ける決意をしました。父親を早くに亡くしたこともあり、大学進学には奨学金が必要でしたが、ソフトテニスを続けたい一心で、奨学金を受けながら学業とクラブ活動が両立できる大学を探して進学しました。

学生時代は、勉強だけでなく、好きなことに夢中になることも大切です。私は自分の学生時代の経験を通して、切磋琢磨して高め合う人間関係の素晴らしさを学びました。クラブ活動は先輩と後輩がいる集団、人間関係をつくる

ことの大切さを否が応でも学びます。そして壁にぶつかりながら、それを越えることの苦しさ、越えたときの喜びを知ることもできる場所です。

生徒たちに望むことは、勉学でもスポーツでも、自分で目標を決めて、それに向かって真剣に取り組んでほしいということ。そして、たとえしんどくても、壁にぶつかっても、簡単に「でけへん」と投げ出さないこと。なぜなら壁を感じてからの頑張りや努力の一つひとつこそが、みんなを強く豊かに成長させる力になるからです。



特別展

田辺聖子文学館の特別展を開催しました!

田辺聖子文学館の特別展「田辺聖子と源氏物語」が11月8日(土)～22日(土)にかけて開催され、期間中で約2,000人の方でご来場くださいました。特別展では、田辺聖子さんと「源氏物語」との関わりを紹介したほか、本学図書館が所蔵する稀覯本「源氏物語」(伝嵯峨本)の特別公開や、「源氏物語」を題材とした本学学生による書・花・カルタ・イラストの展示、名場面と名セリフの紹介などが行われました。また、平安時代の衣裳を着て記念写真を撮るコーナーなども用意され、連日行列ができる人気ぶりでした。

11月9日(日)には本学の武田雅子教授と中周子教授による講演や、女人舞楽「原笙会」による「五節の舞」の実演、平安貴族の遊びである「貝合わせ」の作製体験なども行われ、源氏物語の世界を様々な角度から堪能していただくことができました。



平安衣裳で記念撮影できるコーナーは大人気



原笙会による「五節の舞」の実演

イベント報告

樟蔭ホームカミングデー2008を開催しました！

10月11日(土)、学園各校の卒業生を学園にお招きし、懐かしい学舎で旧交を温め、絆を深めるイベント「ホームカミングデー」が開催され、10年ごとの対象期となる卒業生とご家族を合わせて235名の皆さんにご参加いただくことができました。キャンパス内には、30歳から80歳の方までのたくさんの卒業生で溢れ、久しぶりに出会った旧友とおしゃべりに夢中になっている姿があらうこちらで見られました。今回のオープニング企画では、プロの落語家であり英語落語の第一人者でもある桂かい枝さん(本学非常勤講師)をお招きし、大学英米文学科が取り組んでいる「英語落語」の授業について紹介し

ました。英語に関する小咄を交えながらのお話に、会場は笑いに包まれ、短時間でありながらも英語落語の魅力と教育的な効果について感じていただくことができました。また、お昼からは理事長をはじめとした学園教職員や退職された先生方を囲みながらの懇親会が開かれました。参加者が増えたことにより、今回は初めて大学食堂と地下ラウンジの2か所に分かれての開催となり、それぞれの卒業校や学科などに分かれて楽しい時間を過ごしていただきました。そのほか、顔の印象分析やTシャツ絞り染め、メイクアップレッスン、味覚チェック、血管年齢測定、クラフト作製、貝合わせ作製、風呂敷を使ったラッピ

ングなど、さまざまな体験企画や学生作品の展示企画などを用意し、卒業生だけでなく、一緒に参加されたお子様やご家族にも楽しんでいただくことができました。今回で4回目を迎えたホームカミングデー。回を重ねるごとに参加人数が増え、多くの卒業生に楽しみにしていただけるイベントになりました。学園では、卒業生との交流をより一層深めていきたいと考えておりますので、今後多くの卒業生にご参加いただけますことを願っております。最後になりましたが、今回のホームカミングデーにご参加いただきました皆様、開催にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



現代GP報告

現代GP「学生による地域協創型子育てモデルの開発」レポート
全国フォーラムの場で学生たちによるワークショップを実施しました！

本学が取り組む現代GP「学生による地域協創型子育てモデルの開発」(略して「子育てGP」)の一環として、11月16日(日)に奈良県橿原市で開催された「平成20年度 子育てを支える「家族・地域のきずな」フォーラム全国大会」において、学生たちによるワークショップを開催しました。学生たちが企画した「絵本と子育てのワークショップ」には、約150名の親子にご参加いただき、創作絵本を題材として親子で一緒に歌を歌ったり体を動かしたりするなどして、親子で楽しく触れ合える遊びを体験していただきました。また、手作りおもちゃや壁画アートを親子で作ることを通して、力を

合わせて物を作ることの喜びや、他者とのつながりの大切さを感じていただきました。学生たちはワークショップが終わった後も、今回の体験で得られた成果をもとに、さまざまな新しい課題を見つけ、地域のニーズに即した子育て支援のあり方についての話し合いを深めました。



子育てGPでは、左記の他、東大阪市内においても子育てカレッジを開催しております。これは、「子育て支援実践」の授業の一環として行なっているもので、11月には「これなあに?やさいのかくれんぼ(手作り絵本体験)」と題して、「絵本と野菜」をテーマに、乳児を対象に親子参加型のイベントを行いました。実際に親子の姿に触れ、企画から運営までを通して行う貴重な実践の場となり、数多くのことを学ぶ良い機会となりました。今回得られた課題を活かしながら、より地域に密着した子育てモデルの開発に向けて取り組んでいきます。

狂言

豪華メンバーが揃う「東西狂言会」が開催されました！

恒例となりました「東西狂言会」が11月28日(金)に東大阪市立市民会館において開催されました。一昨年に狂言界で初めて文化勲章を受章された茂山千作師(大蔵流)、11月3日に文化功労者に選ばれた野村萬師(和泉流)、そのほかにも茂山千之丞さんをはじめとした重要無形文化財総合指定保持者の方々など、東西の狂言界を代表する豪華な顔ぶれによって開催されました。東西の人間国宝の演者が揃うという滅多に見られない舞台に、たくさんのお客様が来場され、約1,100名の方々が狂言の世界を満喫されました。



「清水」の一場面



「貴智」の一場面

書籍

学芸学部食物栄養学科 熊代千鶴恵 准教授 編著
「やさしい糖尿病の夕食のコツと心得改訂版」

(全51頁・2008.12.20. 株式会社医薬ジャーナル社)

糖尿病にとって「夕食」を「害食」にしないように、夕食の問題点をたくさんイラストを用い平易に説明。また、新たな栄養指導として注目を浴びつつある「カーボカウント」にも言及しています。



樟徳館

大正モダンの雰囲気を漂わせる「樟徳館」の一般公開を開催！

11月15日(土)・16日(日)の両日、樟蔭学園創立者である森平蔵が私邸として昭和初期に建築した「樟徳館」(登録有形文化財)の一般公開が行われました。2日目はあいにくの雨でしたが、新聞等で紹介されたこともあり、両日で約2,300人もの方にお越しいただき、近隣だけでなく遠方からも多くの方々が見学に訪れました。見学された方々は、最高の木材をふんだんに使

い、匠の職人技を駆使した貴重な建物に感動され、真剣な眼差しで隅々までご覧になっておられました。また、一時期は学生寮やクラブの合宿所として使われていたこともあり、学生当時を懐かしみながら館内を回っている卒業生の姿も見られました。今回ご来館いただいた多くの方々の感想を聞き、改めて「樟徳館」の価値や素晴らしさを再認識できた2日間でした。



庭での概要説明にも多くの方が参加されました

樟徳館でNHKドラマの撮影が行われました！

8月末、本学の樟徳館においてNHKドラマ「白洲次郎」の撮影が行われました。このドラマは、激動の昭和史を駆け抜けた白洲次郎の生涯を描いたもので、2月下旬から放映が予定されています。次郎が幼少期から青年期までを過ごした邸宅は、富豪であり建築道楽であった父が贅を尽くして建てた豪邸で、樟徳館はその豪邸のシーンを撮影する場所として選ばれました。撮影時には、父親役の奥田瑛二さんや次郎役の伊勢谷友介さんなどがお越しになられ、大玄関や庭、応接間(ダイニングの設定)、洋

風居間(書斎の設定)などでの撮影が行われました。樟徳館が持つ大正モダンな雰囲気がうまく活用されていますので、皆様、ぜひドラマをご覧ください。

番組名/NHKスペシャルドラマ「白洲次郎」
放映/第1話は2月28日(土)
午後9時から放映予定
(放映日時は変更になることもございます)
出演者/父親:奥田瑛二・母親:原田美枝子
次郎:伊勢谷友介 など



応接間はダイニングの設定に

洋風居間は書斎の設定に

インターンシップ

「学生提案型インターンシップ発表会」(11月15日開催)を終えて

大学 キャリアセンター
統括課長 森川和彦

キャリア教育のさらなる充実を目的とし、新たに「学生提案型インターンシップ」を今年度より導入しました。今年度のこの「学生提案型」は衣食住関連企業5社との産学連携です。市場調査や商品企画など企業のニーズ・課題に対して、学生が若い消費者としての視点を生かした提案をまとめ上げるプロセスを通して、企業活動の本質や社会で求められる力、能力について学ぶことを目標としています。両キャンパスより参加した2,3回生56名と4回生1名による5社9チームがまず直面したのは、企業の方に自分たちの思いや調査結果が的確に伝わらない、時間管理ができず企業に迷惑をかける、また学年、学科が異なるチーム内でのコミュニケーションが難しいといったさまざまな試練でした。そして、6ヶ月間にわたる長期インターンシップを何とか乗り越えることができた学生たちが、発表会の場において自分たちの企画提案が目に見える形(すでに製品化されヒットのアプリ商品も!)として発表できる喜びと達成感を、楽しくかつ堂々と発表する姿が強く印象に残っています。今後とも、学内で経験できないような試練を自分なりに努力、工夫しながら乗り越えていくとする学生を力強く支援していきたいと考えています。



「学生提案型インターンシップ」体験レポート
学芸学部 被服学科3回生 ●●●●
実習先:(株)ビバニーズ・パドック(小阪チーム:5名)

私たちのチームは、理美容専売品を扱う化粧品メーカーで、化粧品・シャンプー等の商品企画の体験をさせていただきました。企業からの課題は、「アロマとは何か」「他社製品の比較」などの市場調査を行い、会社の商品コンセプトを理解した上で、「10年後の美容室におけるアロマ商品の企画」でした。想像のつかない10年後…最初は難しいと悩みましたが、10年後の社会はどのようになっているかと想像し「男女問わない勤労者をターゲットに、高齢者でも簡単に使えるカプセル状のアロマ」を提案しました。最初は、突飛すぎていると思ったのですが、逆に「こんなのがあれば面白いのでは」と何度も打ち合わせをして進めていき、形になってきた時は、今までにない商品を考えてという実感が嬉しかったです。企業での報告会が数回あり、人前で発表することに慣れていない私たちは、毎回緊張の連続でした。満足して報告しても、考えもしなかった意外な事を指摘され、返答できない悔しさと悲しさを感じ、また同時に「企業で学んでいる」とも実感しました。企業での最終報告会では、社長はじめ幹部の方々10人程の方が参加してくださり、提案した商品について「斬新で、ターゲットの着眼点はいいね」と言われた時には、メンバー同士で目をあわせこっそりと喜んでいました。反省としては、自分たちの思いが的確に伝

わる様な発表の工夫が足りなかったことです。最終発表を終えた時は、学年、学科の違うメンバーが、お互い励まし合いながら一から進めていくことができたという達成感で一杯でした。今回の体験を通して、商品化される時の社会の流れを考えることの楽しさと商品に愛情を注ぐことの大切さを実感しました。社員の方々の和やかな人間関係に接し、協調性と笑顔は欠かせないものだと感じました。この体験が、これからの就職活動を迎える私たちにとって大きな自信になったと思います。今回の商品は、すぐに商品化は無理ですが、10年後に商品化されることを楽しみにしています。最後になりましたが、会社の方々、アドバイスをくださった先生方、キャリアセンターの職員の方々には色々な面で励まして頂きありがとうございました。



受賞

「第12回全国きものデザインコンクール」に入賞！

全国染織連合会が主催する「第12回全国きものデザインコンクール」（経済産業省・文化庁など後援）において、被服学科の学生3名の作品が入賞・入選を果たしました。これは、全国から寄せられた3,000点を超える応募作品の中から優秀な作品が選ばれたもので、10月18日（土）には京都全日空ホテルにおいて表彰式が行われ、入賞・入選作品は元離宮二条城での展示発表会にて披露されました。

○一般CGの部
全国染織連合会会長賞
●●●●（被服学科3回生）
佳作 ●●●●（ 〃 ）
入選 ●●●●（ 〃 ）

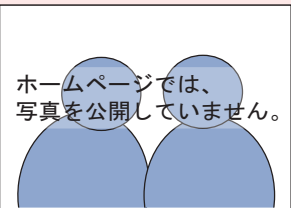


全国染織連合会会長賞を受賞した●●さん

「毛皮革デザインコンクール」に入賞！

（財）宇陀市菟田野毛皮革産業振興公社が主催する「毛皮革デザインコンクール」において、被服学科の学生2名の作品が入賞しました。

宇陀市菟田野毛皮革産業振興公社 理事長賞
●●●●（被服学科2回生）
奈良県毛皮革協同組合連合会 理事長賞
●●●●（ 〃 ）



入賞した●●さん(左)、●●さん(右)

大阪府職業能力開発促進大会において表彰されました！

11月7日（金）・8日（土）、大阪府などが主催する「おおさか技能フェア2008」において、「大阪府職業能力開発促進大会」が行われ、本学インテリアデザイン学科の学生2名に対して「大阪府職業能力開発協会会長賞」が贈られました。これは、昨年度の各種技能検定（国家検定）の合格者の中から、特に成績が優秀であった人を表彰する制度で、「商品装飾展示技能検定（2級）」の成績優秀者として本学学生2名が表彰されたものです。インテリアデザイン学科では、毎年多

くの学生がこの検定に挑戦しており、昨年度も26名の合格者を出していますが、協会会長賞の受賞は初めてのことでした。表彰式には橋本知事も出席され、盛大に行われました。

大阪府職業能力開発協会会長賞
（技能検定成績優秀者）
●●●●（インテリアデザイン学科4回生）
●●●●（ 〃 ）

第9回大阪国際音楽コンクール（アマチュア部門）に多数入賞！

国内外から多くの参加者が集まる大阪国際音楽コンクールのアマチュア部門シニアコースに、児童学科の学生と卒業生が出場し、多数が上位に入賞しました。このコースは、大人（18歳以上）になってからピアノを習い始めた人が出場できる部門で、例年、児童学科の学生がチャレンジし、上位入賞を果たしているものです。大学に入ってからピアノを習い始めた人でもここまでレベルアップできるという証明であり、本学児童学科でのピアノ教育が評価された結果とも言えます。

第9回大阪国際音楽コンクール
アマチュア部門シニアコース ファイナル
第2位 ●●●●（児童学科4回生）
第3位 ●●●●（ 〃 4回生）
第5位 ●●●●（ 〃 卒業生）
第6位 ●●●●（ 〃 3回生）
文化奨励賞 ●●●●（ 〃 2回生）



上位入賞を果たした●●さん



表彰式の様子



表彰状を手にした●●さん(左)、●●さん(右)

クラブ活動

中 学

■バトントワリング部
第4回WBTFインターナショナルカップ IN アイランド（8/5・6）
JUNIOR SOLO レベルA 6位 ●●●●（3年校）
第18回バトントワリング大阪府大会（9/15）
バトントワリング部 金賞
第30回バトントワリング関西大会（11/24）
バトントワリング部門 金賞⇒全国大会に出場決定
■吹奏楽部
第47回大阪府吹奏楽コンクール中地区大会（7/30）
優秀賞
■科学部
青少年のための科学の祭典大阪大会サイエンスフェスタ2008
優秀賞

高 校

■スキー部
第3回全日本選抜ローラースキーかがみの大会（8/24）
優勝 ●●●●（3年花） 18:25:7
2位 ●●●●（3年雪） 18:34:8
3位 ●●●●（1年春） 22:17:1
■バトントワリング部
第18回バトントワリング大阪府大会（9/15）
バトントワリング部門 金賞
ボンボン部門 金賞
第30回バトントワリング関西大会（11/24）
バトントワリング部門 金賞（第1位）⇒全国大会に出場決定
ボンボン部門 金賞 ⇒全国大会に出場決定

■新体操部
大阪府新体操選手権大会（11/30）
団体 優勝
■ソフトテニス部
近畿高校選抜インドア大会（1/10～12）
出場決定 ●●●●（2年花）
●●●●（2年月）

※くすのき158号に掲載いたしました「高校 吹奏楽部 大阪府吹奏楽コンクール中地区大会 優秀賞」は、「中学 吹奏楽部」の間違いでした。ここでお詫び申し上げますと共に、訂正を申し上げます。

ご案内

英語落語発表会を開催します！

大学英米文学科では、生きた英語運用能力を身につけ、あわせて日本の伝統文化への関心を深めることを目標として「英語落語」の授業を開講しています。この授業は、プロの落語家であり英語落語の第一人者である桂かい枝師、桂あさ吉師、英語の発音やリズム・イントネーションの指導を担当する北川千穂先生の3人を講師にお招きし、学生自らが英語落語を実演することを通して、英語の表現力に磨きをかけるという非常にユニークな取り組みです。この度、英米文学科では、英語落語の魅力と教育的効果について実感していただくことを目的として「英語落語発表会」を開催することになりました。発表会では、学生による成果発表だけでなく、桂かい枝師、桂あさ吉師などによる実演もございます。英語が堪能でない方でもお楽しみいただける内容となっておりますので、皆様ぜひご来場ください。

日 時：2月14日（土） 13:00～15:30
場 所：大阪樟蔭女子大学 小阪キャンパス
内 容：第1部「学生英語落語発表会」
第2部「This is “EIGO RAKUGO”」（桂かい枝師、桂あさ吉師などによる実演）
お申し込み：ハガキまたはE-mailにて下記までお申込みください。
〒577-8550 大阪府市菱屋西4-2-26 大阪樟蔭女子大学 英米文学科 お問い合わせ：06-6723-8316
E-mail：eibun@osaka-shoin.ac.jp
お申し込みの際は、①「英語落語」観覧希望 ②氏名 ③住所 ④電話番号を必ずご記入ください。

申込締切：2月6日（金）

卒業制作展・卒業論文発表会のお知らせ

■国文学科 書道ゼミ生による『卒業書作展』のお知らせ
国文学科の書道ゼミでは、次のとおり卒業論文発表の場として「卒業書作展」を行います。ぜひご覧ください。
○卒業書作展
日 時：2月21日（土）～25日（水） 10:00～17:00
場 所：小阪キャンパス 記念館2F（281教室）
※今年の卒業書作展では、16名の学生の作品を展示いたします。どうぞご覧くださいませ。

■被服学科 卒業制作展・卒業論文発表会のお知らせ
被服学科（化粧品分野を含む）では次のとおり、卒業制作展・卒業論文発表会を行います。ぜひご覧ください。
○卒業制作展 ○卒業論文発表会
日 時：1月20日（火）～28日（水） 9:30～16:00 日 時：2月3日（火）9:00～17:00
場 所：小阪キャンパス 記念館2F（281教室） 2月4日（水）9:00～12:00
場 所：小阪キャンパス 円形ホール

■インテリアデザイン学科 卒業制作展のお知らせ
インテリアデザイン学科では次のとおり、卒業制作展を行います。学外では優秀作品を展示します。ぜひご覧ください。
（学内）日 時：1月20日（火）～28日（水） 9:30～16:00
場 所：小阪キャンパス インテリアデザインラボラトリー（記念館1F）
（学外）日 時：2月6日（金）～12日（木） 10:00～18:00
場 所：堂島アバンザ1Fエントランスホール（地下鉄四つ橋線西梅田駅より徒歩2分）



大阪樟蔭女子大学現代GPシンポジウム

現代GP「学生による地域協創型子育てモデルの開発」シンポジウム
「地域の子育て力の活性化」

●基調講演 ティム・バケット氏（カナダ連邦政府父親支援プロジェクト責任者）
●パネルディスカッション ◆コーディネーター ・菊野 春雄氏（子育て支援開発センター長）
・甲村 弘子氏（子育て支援開発センター調査研究部門長）
◆パネリスト ・坂本 純子氏（NPO法人新座子育てネットワーク・代表理事）
・西岡 史恵氏（奈良県福祉部こども家庭局少子化対策室長）
・山崎 晃男氏（子育て支援開発センター教育開発部門長）

日 時：2月11日（水） 14:00～16:30
場 所：大阪樟蔭女子大学 関屋キャンパス
キッズルーム：有り（無料：要申込）〔キッズルーム申込締切：2月6日（金）〕
お申し込み：電話またはFAX、E-mailにてお申し込みください。①住所 ②氏名（ふりがな） ③電話番号 ④「シンポジウム参加希望」を記載してください。
締め切り：2月10日（火）
お問い合わせ：大阪樟蔭女子大学 子育て支援開発センター 〒639-0298 香芝市関屋958 TEL：0745-71-3172 FAX：0745-71-3164
E-mail:s-gakujyutsu@osaka-shoin.ac.jp URL:http://www.osaka-shoin.ac.jp

現代GP「総合的人間力を育てるサイクルプロジェクト」シンポジウム
「総合的キャリア形成支援のための『サイクルプロジェクト』実施状況報告（仮題）」
日 時：3月13日（金） 13:30～16:00（予定）
場 所：大阪樟蔭女子大学 小阪キャンパス
※詳しい内容およびお申し込み方法などは、2月上旬に大学HP上にて告知いたします。

各校のスケジュール 1月～3月

※行事予定は、諸事情により変更になる場合がございます。

大 学			高 校			3 2 月								
小阪(大学院・学芸)			1 8 木 始業式			転入生募集開始(～13日)								
1	5 月	授業再開	17 土	生徒臨時休校(大学センター試験の為)(～18日)	20 火	期末テスト(～10日)								
		17 土 全学休講(センター試験の為)(～18日)				卒業式								
	22 木 全学休講(一般入試AIの為)(～23日)	19 木 終業式												
2	3 火	補講(～4日)			22 木	20 金 新入生登校日(9:00～)								
		5 木 全学休講(一般入試AⅡ・Ⅲの為)				25 水 新入生(欠席者)登校日(1:00～〈予定〉)								
	9 月	秋期授業終了												
	10 火	補講(～14日)												
	15 日	ニュージーランド海外語学研修(～3月28日)												
3	23 月	卒業年次生成績返却												
		3 火 アメリカ海外語学研修(～30日)												
		14 土 学位授与式												
16 月	1～3回生成績返却(～17日)													
関屋(大学院・人間・短大)			2 2 月 百人一首大会(決勝)			幼稚園								
1	5 月	授業再開	10 火	生徒臨時休校(～13日)	19 木	海外研修参加者第1回説明会								
		17 土 全学休講(センター試験の為)(～18日)				卒業式予行								
	22 木 全学休講(一般入試AIの為)(～23日)	自治会お別れ会												
	2	3 火			補講(～4日)	26 木	卒業式							
					5 木 全学休講(一般入試AⅡ・Ⅲの為)		期末試験(～11日)							
9 月		秋期授業終了	19 木	終業式										
10 火	補講(～14日)	専願者新入生登校日(9:00～)												
15 日	ニュージーランド海外語学研修(～3月28日)	併願者新入生登校日(13:00～)												
3	23 月	卒業年次生成績返却	25 水											
		アメリカ海外語学研修(～30日)												
		学位授与式												
16 月	1～3回生成績返却(～17日)													
関屋(大学院・人間・短大)			3 3 火 卒業式			3 3 火 ひなまつり会								
1	5 月	授業再開	中 学			3 3 火	祖母のための孫育て講座							
		17 土 全学休講(センター試験の為)(～18日)	1 8 木 始業式	17 土 生徒自宅学習(～20日)	28 水 自治会選挙									
	22 木 全学休講(一般入試AIの為)(～23日)													
	2	3 火							補講(～4日)					
									5 木 全学休講(一般入試AⅡ・Ⅲの為)					
9 月		秋期授業終了							2 2 月 百人一首大会(決勝)	12 木 狂言鑑賞(全学年)	18 水 3年校内大会	17 火 卒園式	19 木 終業式	
10 火	補講(～14日)													
15 日	ニュージーランド海外語学研修(～3月28日)													
23 月	卒業年次生成績返却													
3 火	アメリカ海外語学研修(～30日)													
	学位授与式													
	16 月	1～3回生成績返却(～17日)												
関屋(大学院・人間・短大)			3 3 火 ひなまつり会			5 木 誕生会								
5 月	授業再開				12 木 クラス会(年長)									
	全学休講(センター試験の為)(～18日)				13 金 クラス会(年中)・お別れ会									
2	3 火	補講(～4日)				16 月 クラス会(年少)								
		5 木 全学休講(一般入試AⅡ・Ⅲの為)				17 火 卒園式								
	9 月	秋期授業終了				19 木 終業式								
	10 火	補講(～14日)												
	15 日	ニュージーランド海外語学研修(～3月28日)												
3	23 月	卒業年次生成績返却												
		アメリカ海外語学研修(～30日)												
		学位授与式												
16 月	1～3回生成績返却(～17日)													
関屋(大学院・人間・短大)			海外研修参加者第1回説明会											

平成21年度の入試日程について

学園各校の平成21年度の入試概要について紹介いたします。お近くに進学年齢を迎えた方がいらっしゃいましたら、ぜひ樟蔭への進学を薦めていただけますようお願い申し上げます。入試に関する詳細な情報を知りたい方や、願書や資料の送付を希望される方は下記の各担当窓口までお問い合わせください。

●大学・短期大学部について 大学入学課 06-6723-8274 ●中学校・高等学校について 中高幼事務室 06-6723-8185

		入試種別	出願期間	試験日	選考方法	合格発表日
大 学		一般AⅡ★	1月5日(月)～30日(金)(必着)	2月5日(木)	学力テスト(2科目)	2月13日(金)
学芸学部	国文学科・英米文学科・ 食物栄養学科・被服学科・ インテリアデザイン学科・ ライフプランニング学科	一般AⅢ (センタープラス)	1月5日(月)～30日(金)(必着)	2月5日(木)	一般AⅡ(2科目)+センター試験(1科目) ※一般AⅢに出願した人のみ出願可能です。	2月13日(金)
		一般B★	2月2日(月)～18日(水)(必着)	2月22日(日)	学力テスト(1科目)	2月28日(土)
	心理学部	臨床心理学科・発達教育心理学科・ ビジネス心理学科	一般C	3月3日(火)～17日(火)(必着)	3月21日(土)	学力テスト(1科目)
児童学部	児童学科	センター利用B	2月9日(月)～3月2日(月)(必着)	本学独自の個別 学力試験は実施し ません。	平成21年度大学入試センター試験の 成績(2科目)	3月7日(土)
短期大学部		一般AⅡ★	1月5日(月)～30日(金)(必着)	2月5日(木)	学力テスト(1科目)	2月13日(金)
キャリアデザイン学科		一般B★	2月2日(月)～18日(水)(必着)	2月22日(日)	学力テスト(1科目)	2月28日(土)
		一般C	3月3日(火)～17日(火)(必着)	3月21日(土)	学力テスト(1科目)	3月25日(水)

★印の入試には地方試験会場(梅田・京都・和歌山・神戸・岡山)がございます。

高 校

募集人員 (1)特進コース 約40名(樟蔭中学校からの進学者を含みます)
(2)進学コース 約170名(樟蔭中学校からの進学者を含みます)
※(1)と(2)のいずれのコースも専願と併願に分けて募集します。

出願期間 1月22日(木)～30日(金)

受付時間 9:00～16:00 ※日曜日は除く

試験日 1.学力試験…2月10日(火)
2.面接(専願者のみ実施)…2月11日(祝・水)

試験科目 (1)特進コース
国語、数学、英語(リスニングテストを含む)、理科、社会の5教科
(2)進学コース
国語、数学、英語(リスニングテストを含む)の3教科

合否発表 2月13日(金)(午前中に郵送にて発送)

中 学

募集人員 (1)選抜特進コース 40名
(2)特進コース 120名
※選抜特進コースを志望する者は、特進コースの第2志望を認めます。

出願期間 B入試…平成20年12月8日(月)～平成21年1月19日(月)
C入試…平成20年12月8日(月)～平成21年1月22日(木)

受付時間 9:00～16:00

※日曜日・祝祭日は受付を行いません。ただし、1月18日(日)は受付可。

試験日 B入試…1月19日(月)
C入試…1月22日(木)

試験科目 国語、算数の2教科

合否発表 B入試…1月20日(火) 11:00～12:00
C入試…1月23日(金) 11:00～12:00 (学校窓口で発表)

各校の行事報告

大 学

●若樟祭

10月25日(土)・26日(日)に関屋キャンパスの大学祭である「若樟祭」が開催されました。今年のテーマは「Smile」。今年22回目を迎えることにちなんで、22世紀の未来の人々も笑顔で過ごせるようにと、環境問題などにも触れエコを意識した活動や企画が行われ、子どもから大人までのお客様に楽しんでいただくことができました。



●くすのき祭

11月8日(土)・9日(日)に小阪キャンパスの大学祭「くすのき祭」が実施されました。1日目はあいにくの雨に見舞われましたが、実行委員会が準備した多彩な企画やTeam☆glitterによるファッションショーなど、学生たちによる個性豊かな発表や模擬店などが行われ、例年よりも多くのお客様にご来場いただくことができました。



●日本文化塾(芸術と鑑賞)

4月から開講しておりました特別公開講座「日本文化塾(芸術と鑑賞)」(全13回)が11月に最終回を迎えました。今回のシリーズでは、「伝統と革新」をテーマとし、文化庁芸術祭賞受賞の方々を中心とした各分野のエキスパートによる実演と解説が行われ、参加者の皆さんに日本の芸能や芸術を堪能していただくことができました。最終回では、奈良の東大寺へ出かけ、東大寺の文化財について東大寺前管長の橋本聖圓氏に講演していただきました。



人事異動

採用職員	
●事務職員	
大学事務局入学課(関屋)	大学事務局ITセンター(関屋)
(2008.10.1付) 岡田光弘	(2008.11.1付) 瀧川雅之
大学事務局修学支援課(小阪)	大学事務局入学課(小阪)
(2008.10.1付) 松高淳子	(2008.12.1付) 山中達也
大学事務局学術振興課(小阪)	
(2008.10.1付) 加藤妙子	(2009.1.1付) 村中孝次

高 校

●体育祭

高校の体育祭が9月25日(木)に行われました。毎年恒例の3年生によるクラスごとの創作ダンス「青春の躍動」では、今年も各クラスから力作が披露され、審査の結果、雪組のダンスが1位に選ばれました。また、各種競技の各学年での総合順位は、1年空組、2年月組、3年雪組が優勝しました。



●大阪樟蔭女子大学をもっと知ろう

11月18日(火)、内部の大学のことをもっとよく知ってもらうことを目的として、2年生を対象に大学の紹介や体験授業などが行われました。大学の先生から専門授業の説明を聞き、先輩たちと一緒に授業を受けたり、実習を体験したりするなどして、ぼんやりとしていた大学というイメージを少し具体的なものに発展させることができました。



中 学

●全校レクリエーション

9月25日(木)、良いお天気の中で全校レクリエーションが行われました。生徒たちはさまざまな競技に汗を流し、自分が出場していないときも一生懸命に声援を送っていました。優勝したのは1年桃組、2年楓組、3年楓組でしたが、優勝したクラスだけでなくすべてのクラスの団結力が強まった一日でした。



●若葉祭

10月4日(土)・5日(日)の2日間、文化祭である若葉祭が開催されました。今回は初めて中高での合同開催となり、各クラスやクラブによるステージ発表や各教室での展示、企画、模擬店などが行われました。2日目には、保護者を中心としたお客様をお招きし、クラブでの練習の成果や一生懸命に準備した出し物など見ていただきました。



幼稚園

●お芋ほり

学園の畑で育てたお芋をみんなで掘り出しました。園児たちは、茎を引っ張ったりやわらかい土を自分の手で掘ったり、一生懸命がんばって大きなお芋もたくさん取れました。年長さんが取ったお芋をいくつか数えて、全部あわせて480本ありました。後日、たくさんのお芋を焼き芋にして、みんなで食べました。



●遠足(須磨水族園)

11月7日(金)、本来はみかん狩りに行く予定でしたが雨が降ってしまったので、須磨水族園に行きました。みんなでたくさんのお魚さんを見たり、イルカさんのショーを見たりして、たくさん歓声を上げながら楽しく過ごしました。



慶 弔

ご結婚 おめでとうございます
●●●●氏(高校・社会科常勤講師)は、10月25日ご結婚され、●●●●姓になりました。

お悔やみ 謹んでお悔やみ申し上げます
●●●●さん(中高幼事務室 ●●●●氏のご母堂) 平成20年8月14日 70歳
●●●●さん(大学・図書館 ●●●●氏のご尊父) 平成20年8月19日 81歳
●●●●さん(短期大学部准教授 ●●●●氏のご尊父) 平成20年8月30日 81歳
●●●●さん(短期大学部准教授 ●●●●氏のご尊父) 平成20年11月17日 87歳
●●●●さん(高校・社会科教諭 ●●●●氏のご尊父) 平成20年11月29日 73歳

皆様との
コミュニケーションスペース

アメリカ人留学生の ホストファミリーを募集しています！

大学国際交流室では、アメリカの大学からやってくる短期留学生を受け入れていただけるホストファミリーを募集しています。今年の5月～6月にかけての約4週間、日本語や日本文化を学ぶために本学を訪れるフレスノ大学・セント大学の学生のホームステイ先として留学生をサポートしていただけるご家庭を探しています。

留学生の受け入れにご興味のある方は、住所・氏名・電話番号を明記の上、ハガキまたはFAX、E-mailにてご連絡ください。ご連絡いただいた方には、追って詳細な情報をお送りいたします。皆様のご協力をお待ちしております。

【連絡先】 大阪樟蔭女子大学 国際交流室
〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
TEL：06-6723-8181（代）
FAX：06-6723-8348（代）
E-mail：gakuen.koho@osaka-shoin.ac.jp

※通学時の負担軽減のため、約30分以内に本学（小阪キャンパス）まで通学できる地域にお住まいの方を募集しております。

※留学生の受け入れ人数により、お申し込みいただいた場合でも留学生を紹介できない場合がございますことをご了承ください。

※先方の大学は共学校ですので、男子学生を受け入れていただく場合もございます。

※ホストファミリー代として1週間に1万円を補助いたします。

卒業生★通信

●●●●● さん(中10・高12・大被12)

第40回日展の第4科(工芸美術)に入選されました。



作品名「躍る水」

(第40回日展 巡回展が、大阪市立美術館にて2月21日～3月22日に開催されます)

学園では、卒業生のご活躍の情報を集めております。さまざまな分野での受賞や表彰など、ご活躍の情報をお寄せいただければ、この欄で紹介させていただきます。自薦・他薦は問いませんので、是非情報をお寄せください。

例えば、「美術展に入賞した」「ボランティア活動で表彰された」「自分の著作が出版された」「難関とされる資格を取得した」などなど…

樟蔭学園 企画広報室
〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
TEL:06-6723-8152 FAX:06-6723-8263
E-mail:gakuen.koho@osaka-shoin.ac.jp

※お寄せいただいた情報の掲載の可否については学園にて判断させていただきますことをご了承ください。

学園を支えてくださる皆様へ

大正6年、女子教育の先駆けとして樟蔭学園が誕生し、創立からすでに90年以上の歴史を刻んで参りました。質の高い理想的な女子教育の実践を志した創立者森平蔵の精神は、今も学園に受け継がれており、この理想の女子教育を守るため、これまでも卒業生を中心とした多くの方々からの温かいご支援に支えられてまいりました。

そして、創立100周年という大きな節目に向かおうとしている今、樟蔭学園は、現代社会に生きる女性に必要なとされる最良の教育を提供し、自らの幸福だけでなく、社会全体の幸福に貢献できる人材を育成していきたいと考えています。

樟蔭学園が次世代にも誇れる学園としてさらなる飛躍を遂げるため、皆様からの温かいご支援をお願いいたしたく、下記の寄付金にご協力くださいますようお願い申し上げます。

教育環境整備寄付金

☆学生・生徒がより充実した環境で学び、有意義な学園生活をおくることができるように、設備や制度の充実を図るための寄付金です。

課外活動支援寄付金

☆学生・生徒のクラブ活動や委員会活動、ボランティア活動などを支援する寄付金です。

- ご寄付いただいた方へは、学園報「くすのき」への氏名掲載のほか、記念品をお贈りいたします。
- 50万円以上のご寄付をいただいた方へは、学園報「くすのき」へ高額寄付者として掲載させていただきますほか、理事長からの感謝状と特別記念品をお贈りいたします。
- 本学への寄付金に対しては免税措置の適用がござります。詳しくはお問い合わせください。

寄付金についてのお問い合わせは下記へお願いいたします。詳しい資料や申込用紙などをお送りさせていただきます。

樟蔭学園 企画広報室 〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
TEL:06-6723-8152 FAX:06-6723-8263
E-mail:gakuen.koho@osaka-shoin.ac.jp

寄付金応募へのお礼

この度、卒業生の皆様から任意寄付のご応募を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、学園に對しご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

寄付者のご芳名(敬称略・順不同)

※11月30日現在までの分を掲載しています。以降につきましては、次回号に掲載予定です。

※ ホームページでは、寄付者のご芳名を公開していません。

ハイレベルな人材ネットワークで ビジネスをサポートします。

<http://www.nikkei-service.co.jp>

株式会社 日経サービス

トータルビルメンテナンス

セキュリティ

キャリアスタッフ

メディカルサービス

ペインティング

本社／大阪市中央区南船場1丁目17番10号 南船場NSビル
TEL.06-6268-6788(代表) FAX.06-6268-0388

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝情報機器株式会社 関西支社

〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-30
(梅田スカイビルウエスト28F)
TEL:06-6440-2307 FAX:06-6440-2312
<http://www.toshiba-tie.co.jp/>

旅、スマイル

旅する人の笑顔にあいたくて…JTB。



JTB西日本 教育旅行大阪支店
〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号
堺筋本町センタービル8階
Tel.06-6271-8375 fax.06-6262-9248

生徒の皆様の心に
『感動』という名の花を咲かせます

夢
と感動の
修学旅行



大阪教育旅行支店
TEL:06-6533-0710 FAX:06-6533-0719



ひとりひとりに満点旅行。



商品力、サービス力、情報力、3つのパワーで、あなたの旅をさらに快適に。

トップツアー 大阪教育旅行支店

〒530-0003
大阪市北区堂島2丁目1-43(紀陽ビル7階)
電話 06-4799-0150 FAX 06-4799-0160